

(様式1-3)

七ヶ浜町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

令和3年11月時点

NO.	65	事業名	農山漁村地域復興基盤総合整備事業(復興基盤総合整備事業)	事業番号	C-1-3
交付団体	宮城県		事業実施主体(直接/間接)	宮城県(直接)	
総交付対象事業費	2,780,000千円		全体事業費	3,263,000千円	
事業概要					
<p>地区名 七ヶ浜地区 地区面積 A=143.0ha 整地面積 A=118.7ha</p> <p>津波により著しく被災した本地区では、地区内の農家の多くが被災し、営農者の死亡や地区外への移転、また、生活再建等での資金需要に伴い、地域の営農再開が困難となっている。このことから、地域の復興を目的として農地及び用排水施設等の生産基盤整備事業を実施する。</p> <p>農地の大区画整備により農地の面的な集積を行い、被災農家が参加する生産組織への集約化を図る。組織は法人化を目指し、経営の規模拡大・高付加価値化を行い、収益性の高い農業経営の実現を図ることとしている。これらにより、被災農家の生活再建をはじめ、新たな雇用を創出し、地域の農業振興、農村コミュニティの再生など、町の復興計画の実現に資する。</p> <p>平成25年4月に「七ヶ浜町復興基盤総合整備事業調整委員会」が発足し、町を挙げて農業と農村の振興を強く推進しているところである。平成26~28年度にかけては、区画整理工事118.7haを実施した。平成31/令和元~2年度にかけては、整地付帯工、用水路工、排水路工、測量試験、換地業務を予定していた。</p> <p>そのような中、令和元年10月12日から13日に通過した令和元年東日本台風で被害が発生し、令和2年3月にかけて水路工・道路工の手戻り工事を実施した。</p> <p>今回は、今年の収穫後に新たに必要となった補完工事、及び相続放棄問題が生じた換地業務に不測の時間を要し、事業期間(予算執行終了時点)を令和3年5月末まで延伸するもの。</p> <p>七ヶ浜町震災復興計画 記載箇所:P.16 2.農地の回復と農業の再生 概要:農業基盤の迅速な復旧、排水機能の向上、農業経営の組織化の推進</p> <p>【他事業から流用】(平成29年10月11日) H30年度に実施する事業費として、七ヶ浜町内で実施されている下記5件の事業より事業間流用を実施した。 流用元:C-6-1 漁港施設機能強化事業(菖蒲田浜地区) 菖蒲田浜地区 流用額:3,338千円(国費:[H23年度補正]2,503千円) 流用元:C-6-2 漁港施設機能強化事業(松ヶ浜地区) 松ヶ浜地区 流用額:32,859千円(国費:[H23年度補正]24,644千円) 流用元:C-8-1 宮城県水産技術総合センター種苗生産施設復旧整備事業七ヶ浜町・宮城県水産技術総合センター種苗生産施設 流用額:50,746千円(国費:[H24年度繰越当初]38,059千円) 流用元:C-1-2 農山漁村地域復興基盤総合整備事業(復興整備実施計画)七ヶ浜地区 流用額:5,531千円(国費:[H23年度(繰越)補正]5,531千円) 流用元:C-1-3-1 農地整備推進支援事業 七ヶ浜地区 流用額:14,704千円(国費:[H23年度(繰越)補正]11,763千円)</p> <p>【他事業から流用】(平成30年10月10日) H31年度に実施する事業費として、宮城県内で実施されている下記事業より事業間流用を実施した。 流用元:大崎市 C-4-1 地域資源利活用施設整備事業(施設整備) 流用額:248,000千円(国費:[H23年度(繰越)補正]186,000千円)</p> <p>【他事業から流用】(令和元年10月7日) R元・R2年度に実施する事業費として、宮城県内で実施されている下記事業より事業間流用を実施した。</p>					

R元 流用元：気仙沼市 C-4-1 被災地域農業復興支援事業（階上・大谷地区）

流用額：115,000千円（国費：[H25(繰越)当初]86,250千円）

R2 流用元：気仙沼市 C-4-1 被災地域農業復興支援事業（階上・大谷地区）

流用額：9,000千円（国費：[H25(繰越)当初]6,750千円）

【他事業から流用】（令和2年1月10日）

R元年度に実施する事業費として、宮城県内で実施されている下記事業より事業間流用を実施した。

R元 流用元：C-4-1 被災地域農業復興総合支援事業（七ヶ浜町農業復興共同乾燥調整施設等整備事業）

流用額：4,000千円（国費：[H23(繰越)補正]3,000千円）

【他事業へ流用】（令和3年11月30日）

入札請差等により余裕を生じた事業費を減額し、宮城県内で実施されている下記事業へ事業間流用する。

流用先：気仙沼市 C-1-2_農山漁村地域復興基盤総合整備事業（復興基盤総合整備事業）気仙沼地区

流用額：3,000千円（国費：[H27(繰越)当初]2,250千円）

これにより全体事業費は3,266,000千円（国費：2,449,500千円）から3,263,000千円（国費：2,447,250千円）に減額。

当面の事業概要

<平成25年度>・測量試験費，換地費 一式，付帯工事 一式

<平成26年度>・区画整理工 A=118.7ha 着手，測量試験費，移転等補償費，換地費 一式

<平成27年度>・区画整理工 A=118.7ha ・暗渠排水工事 A=116.5ha 着手，測量試験費，
移転等補償費，換地費 一式

<平成28年度>・区画整理工 118.7ha 完成 ・整地付帯工事等 一式 ・暗渠排水工事 116.5ha 完成
測量試験費，換地費 一式

<平成29年度>・用水路工 L=2.5km，排水路工（横断暗渠3ヶ所，ゲート自動化5基），
測量試験費，移転補償費，換地費 一式

<平成30年度>・整地付帯工（除礫） 一式 ・用水路工（ため池水位計6ヶ所）
・排水路工（町道横断函渠1ヶ所） ・測量試験費 一式 ・換地費 一式

<平成31/令和元年度>・整地付帯工（置換，湧水処理，溝畔漏水対策，客土） 一式
・用水路工（付帯工） 一式 ・排水路工（付帯工） 一式 ・換地費 一式
・復旧工事（排水路工，道路工） 一式

<令和2年度>・整地付帯工（均平工，湧水処理工，補助暗渠工） 一式 ・排水路工（付帯工） 一式
・測量試験費 一式 ・換地費 一式

<令和3年度繰越>・整地付帯工（均平工，湧水処理工，補助暗渠工） 一式 ・排水路工（付帯工） 一式
・換地費 一式

東日本大震災の被害との関係

地区面積143haの全域が津波により被災した。集落は滅失し、農機具、共同利用施設は損壊・流失した。また農地への大量のがれき混入、土砂の堆積、塩害などにより営農困難な事態となった。地域の全域にわたり、0.1～1.2m程度の地盤沈下が生じており、用排水対策の再編が必要となっている。

関連する災害復旧事業の概要

農地復旧（津波被災） A= 137.9ha C= 600,768千円

農業用排水施設 N= 19カ所 C= 605,545千円